

2007年(平成19年)2月8日発行



## 祝いもちつき ペったんぺったん

僧兵の格好をした大山小の児童が、自分たちで育てたもち米で祝いもちをつきました。(スキー場開き・中の原スキーセンター前)

12  
月  
定  
例  
会

基金を積み立て .....	2
委員会の質疑 .....	6
あなたの声を町政に(10人が一般質問) .....	8
町民の声：みんなのひろば .....	18

# 合併特例債で

# 基金を積み立て



議会 2 日目。中山公民館の女性学級のサンフレッシュサークルが傍聴に。

12月定例議会は、12月12日から21日までの10日間の会期で開催しました。議案は町長提案で、基金条例の制定・工事契約の変更・一般会計補正予算・人事案件など28件の

議案、議員提案で意見書4件と特別委員会の設置が提案され、いずれも原案どおり可決しました。一般質問は10人の議員が町長・教育長の考えをたずねました。

## 合併振興基金条例

合併特例債を基金造成の財源として活用し、積み立てを行なうもの。

**問** (近藤議員)

基金をどれくらい作るか。その運用益で行なう町民の一体感を図る事業の内容は。

**答** (諸遊総務課長)

基金の上限は15億9千万円程度。10年間積み立てをする。事業はこれから検討する。

## 合併支援事業基金条例

県から10年間分割交付される合併支援交付金を基金に積み立て、起債の元利償還にあてるもの。

**問** (近藤議員)

どの程度の基金か。

**答** (諸遊総務課長)

6億円が上限。この中で積み立てする。

## 副町長の定数を定める条例

地方自治法の改正による

り、助役に代えて副町長を1名置くもの。

**問** (西山議員)

助役を副町長と改めるが、権限はどうかわかるか。

**答** (諸遊総務課長)

町長の命令を受け、政策・企画をつかさどる。また、事務の一部について委任を受け執行できる。

## 光ファイバーネットワーク施設関係条例

放送通信施設の設置と役割や管理の手續等を定めるもの。

**問** (森田議員)

自営柱などの占有料1本1260円の根拠は。

**答** (後藤企画情報課長)

中電やNTTの金額を考慮した。

## 一般会計補正予算

**問** (野口議員)

固定資産税の3100万円の減額は、法改正によるものか。ミスか。その件数は。

**答** (野間税務課長)

3年に1度の評価替えによる減額分を計上しなかったミスである。件数は把握していない。

**問** (近藤議員)

町税高額滞納者を呼び出し、差し押さえ勧告、年度内完納を約束したと聞く。滞納金の徴収率が上がると思うが、歳入に見込まないのか。

**答** (野間税務課長)

差し押さえは10人程度終了した。順次行なっていく。徴収率の積算はしていない。

**問** (岩井議員)

名和給食センターの米飯給食の改修工事が出ており、大変喜ばしい。米飯にすると1食20円安くなる根拠は。

**答** (山田教育長)

町内産の米を仕入れることにより20円くらい単価が落ちる計算になる。

**問** (川島議員)

(1) 支援事業・包括的任意事業補助金80万円は。  
(2) 障害者医療費助成54万円は。

**答** (松岡福祉保健課長)

(1) 水中ウォーキング・3B体操の事業費の不足分を一般会計から繰り入れる。  
(2) 3級から6級まで、非課税の人への医療費2分の1助成の不足分を計上した。

### 人権擁護委員の推薦を決定

任期満了となる現職の竹中稔氏を再度推薦したいので議会の意見を求めるもの。  
適任であるとして全会一致で推薦することに決定した。



竹中 稔氏

**問** (吉原議員)

老人施設入所措置の状況・基準はどうか。

**答** (松岡福祉保健課長)

中部にある母来寮、皆生にある尚寿苑に15人が入所している。  
西部地区審査委員会で、支援する家族がなく生活が苦しい人を判断し措置している。

**問** (吉原議員)

高齢者居住環境整備事業補助金の内訳は。

**答** (松岡福祉保健課長)

介護保険の認定を受けている人への制度で、住居のトイレ・段差・スロープなどの修繕費上限80万円の3分の2を補助するもの。

**問** (森田議員)

電柱の恭架強度計算手数料の減額理由は。

**答** (後藤企画情報課長)

NTTへの計算が不要になったため。

**問** (川島議員)

衛生費施設修繕料1612万円の内訳は。

**答** (福田住民生活課長)

名和クリーンセンターの耐火物の修繕、クレートの整備、油圧ユニットオイルの交換など。

**問** (川島議員)

名和給食センターの改修工事150万円は、町内業者でもできると思うが。

**答** (狩野学校教育課長)

意見を参考にしたい。

### スクールバス自損事故

**問** (荒松議員)

事故の発生は去る11月28日である。速やかに議会にも報告すべきではなかったか。

**答** (狩野学校教育課長)

事故車の修理金額が出るのを待って報告をした。今後気をつけたい。

### 索道事業設置条例改正

スキー場のリフトに2日券を新たに設け、半日券を値下げするなどの改正。

**問** (吉原議員)

料金改定の協議内容と周知の方法は。  
※索道：スキー場のリフト

**答** (福留観光商工課長)

スキー場管理組合の加盟各社で十分に協議した。マスコミ・地元紙広告

・パンフレット・メールマガジンの発行などを行った。  
なった。

### 風力発電事業特別会計

**問** (荒松議員)

(1) 549万円の減額補正である。町の風車は止まっていることが多いが、原因は。  
(2) 公募債の償還も始まるが、この状況で大丈夫か。  
(3) 場所の選定を間違ったと思っていないか。

**答** (山口町長)

(3) 町民の環境意識の啓発、シンボリックな施設として整備した。場所が間違っただという認識は全くない。

### 後期高齢者医療広域連合規約

**問** (野口議員)

広域連合の議員定数が東部5・中部3・西部5である。議員が出ない町村も生じ、不満を持っている町村もあるが。

**答** (山口町長)

19市町村で広域連合を組織する。市町村の代表でなく、圏域を代表する議員であり役割は果せると思う。



中の原スキー場のリフト



安全な通学路はみんなの願いです。

# 通学路の陳情を採択

## 陳情を審査しました

12月定例議会に提出された陳情は10件。9月議会からの継続分1件を含め11件を常任委員会ごとに審査し、最終日に採決を行ないました。

採択された陳情は、集配局の再編に反対する「日本郵政公社の郵便局再編計画に関する陳情」、県の補助事業の存続を求める「間伐材搬出促進に関する意見書の採択についての陳情」、医療現場の事故防止のための「安全・安心」の医療と看護の実現のため医師・看護師の増員を求める陳情、名和小学校統合による通学路変更に伴う「通学路の安全確保を求める陳情」の4件。

これを受け、内閣総理大臣・衆参両院議長ほかに対し、意見書を提出することを決定しました。

通学路の安全確保の陳情は町長に対し、議会が採択したので、次の定例会までに処理の経過と結果報告を求める文書を送りました。

陳情の件名	陳情者	審査結果
中国における法輪功学習者の臓器摘出の実態調査を求める陳情	特定非営利活動法人日本法輪大法学会 代表 鶴蘭 雅章	不採択
日本郵政公社の郵便局再編計画に関する陳情	郵政産業労働組合中国地方本部 委員長 溝上 義健	採択 意見書提出
間伐材搬出促進に関する意見書の採択についての陳情	太山森林組合 代表理事組合長 赤川 哲夫	採択 意見書提出
住民の暮らしを守り、公共サービス拡充を求める陳情	鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	不採択
「保育・学童保育・子育て支援施策の拡充と予算の大幅増額」を求める意見書提出の陳情	鳥取の保育を考える会 会長 石井由加利	趣旨採択
安全・安心の医療と看護の実現のため医師・看護師の増員を求める陳情	鳥取県医療労働組合連合会 執行委員長 熊谷 春美	採択 意見書提出
地方税制改正に伴う住民負担増の軽減についての陳情	国民大運動鳥取県実行委員会 実行委員長 村口 徳康	趣旨採択
安心してかけられる医療保障の充実を求める陳情	国民大運動鳥取県実行委員会 実行委員長 村口 徳康	趣旨採択
介護保険制度の改善を求める国への陳情	国民大運動鳥取県実行委員会 実行委員長 村口 徳康	趣旨採択
教育基本法改正案の廃案を求める陳情	国民大運動鳥取県実行委員会 実行委員長 村口 徳康	不採択
通学路の安全確保を求める陳情	上坪東区長 竹田 宏昭	採択



社会体育施設には4社の応募があった。

町内にある公共施設に指定管理者制度を導入することができるようになることを改正する提案がされ、全会一致で決定しました。これまで町の直営や団体委託していた施設の管理運営を、地方自治法の改正に伴い、指定された

団体が担うことができるようになりました。町では今後、提出される事業計画などを検討し、指定先を決定することになります。今回議決された施設は次のとおりです。

- ふるさとフォーラム
- 大山農村環境改善センター
- 社会体育施設
- 農業者トレーニングセンター・多目的運動広場及び農村運動広場
- 中山温泉館及び生活想像館
- 名和地域休養施設
- 名和民芸伝承館
- 中山農村活性化施設

### 1月臨時会

下田中隣保館改築工事の変更契約と名和小学校の物品購入の契約締結などの議案を可決しました。

## 臨時議会 情報

11月20日、1月11日に臨時議会が開かれました。

### 11月臨時会

# 指定管理者制度に伴い ふるさとフォーラム なかやま条例など 8条例を改正

#### 指定管理者制度とは

「公の施設」の管理を民間事業者、NPO法人、ボランティア団体等にも指定できるようにするしくみ

## 特別委員会 公有財産調査特別委員会が調査を完了

委員長 荒松廣志 委員他5名

#### 調査報告

平成10年に問題になり、平成11年に解決間近という報告を受けていたユミハマファーム(有)の町有地占有問題が、いまだ解決されていないことが本年6月定例会の同僚議員の一般質問によって明らかになりました。

その調査のために6月定例会の最終日に本特別委員会が設置になりました。今日まで4回の委員会を開催し、現地調査を行うとともにユミハマファームと執行部の交渉状況の報告を受け、調査をしてまいりました。

問題の町有地(道路)の上には鶏舎が建てられており通行ができない状態であり、実際にこの道路は使われていないため占有部分を買収させる方法はどうかという案も出ましたが、隣地の土地の所有者に意向調査をしたところ、将来、通行をする可能性があるので道路は確保してもらいたいということでありました。

調査の結果、ユミハマファームの土地に迂回路を新設して町有地に振替する方法が望ましいという結論に達しました。



ユミハマファームの鶏舎(加茂地内)

#### 町有地等の活用調査のため、特別委員会を設置

##### 提案理由

合併や学校統合などにより、町有地や学校の校舎等の町有施設の活用方法を調査する必要がある。

委員は、旧町から2名ずつ選出し計6名。

委員長 荒松廣志 副委員長 小原力三

# 委員会の質疑

## 教育民生常任委員会

12月14日、15日の2日間、所管の事務調査、陳情審査を行った。

(福祉保健課)

### 老人保健特別会計

#### 2億円の増額補正

**問** 医療給付費が2億円の増額補正で総額23億円を越す。原因は。

**答** 人工透析、がん治療が増え、1件当りの単価が上がってきたため。

### 後期高齢者医療制度

**問** 20年4月から老人保健制度が後期高齢者医療制度に変わる。どのようになるか。

**答** 75歳以上の「後期高齢者」が加入する。県内の全市町村で設立した広域連合で事務や賦課を行い、町は被保険者証の交付などの窓口業務を行う。保険料は介護保険と同じように年金から引き去

審議・提言していただく。会議は原則公開でやっていきたい。

### 準要保護

#### 問 準要保護世帯(義務)

教育を受ける子の学用品・給食費等に補助を受けることができる)の状況、審査は。

**答** 該当世帯が大きく増加し、行政の負担が重くなってきたっており、認定基準や支給額等の見直しを検討している。

**問** 新たに設置される教育審議会の構成メンバーは。

**答** 大学教授2名、公募

による住民代表2名を含む20名が内定した。幅広い意見が反映されるよう、教育関係者だけでなく、各界の学識経験者にも入っていた。女性の委員は約4割。

任期は19年1月から2

年間。学校教育、幼児教育、社会教育等の町の主要な教育課題について、

要ではないか。

**答** 住民の申請によるもので、実態調査にも限度がある。

## 卒業式は新校舎で 名和小

12月18日、教育委員と合同で建設中の名和小学校を視察。

新名和小学校の第1期

卒業生を新しい校舎から送り出すため、急ピッチで工事が進められている。卒業式は3月20日。



名和小学校建設現場を視察。後ろの円形屋根は体育館

### 世帯分離

(住民生活課)

**問** 住民登録、世帯分離の際に、実態の確認が必

# 総務常任委員会

12月18日、所管の補正予算・陳情審査・現地調査を行った。

(総務課)

**問** 合併支援事業基金とは。

**答** 合併後の地域の振興、住民の連帯の強化等を目的に設置された。

連続する10カ年認められ、15億円が上限となっている。財政状況を見ながら、基金を造成し活用していく。

(人権推進課)

**問** 地区活動費補助金は。

**答** 当初予算を1割カットして交付した。行革審議会からの答申を受けたものである。

運営委員会等には、事前に理解を得ている。



新築中の下田中隣保館を視察



県主催の差し押さえ、家宅搜索の実地研修

(総務課)

**問** 滞納対策室の成果は。

**答** 未収金については、11月半ばまでに、未収金が50万円以上あるうちの48名に出頭通知の文書を出した。その結果、納付計画を立てられた人が20名、定納、完納予定者が6名である。

定納の見込めない人に対しては、土地・建物を中心に、差し押さえを計画している。今後、インターネット競売を進めるため、職員を研修に行かせている。

# 経済建設常任委員会

12月14日、陳情1件を審査し、所管の審査、事後調査、1カ所の現地調査を行った。

## 急がれる復旧工事

18年7月の豪雨災害復旧工事は、年度内発注を目指している。農地災害は、受益者負担があるのので了解が必要。  
(農地15%、農業施設10%)

## スキー場料金見直し

● 町内の園児、小・中・高校生は無料。  
(全スキー場利用可)  
● 身障者の全スキー場利用可。  
● 駐車場料金 (本人・付き添い半額)

(平日のみリフト券購入者に、1,000円キャッシュバック)

## ナスパルタウンの販売促進強化

規則を緩和して、別荘用の販売も認める。また、ハウスメーカーとも協賛で、販売促進に努める。(残り55区画)



ため池の土手が崩れ、田が埋まった。(高田)

DAISEN SNOW RESORT

2016~2017

## 大山スキー場

DAISEN SNOW RESORT

WHAT'S NEW

ご宿泊の方に便利な、待望のリフト券  
**「2日券」登場!!** 大人8,600円  
※子供料金は小学生以下の子供様対象となります。子供6,500円

リフト券が、お求めやすくなりました!!

「共通半日券」——大人3,800円→3,000円  
子供3,000円→2,000円

「3~9(サンキュー券)」3,900円→3,000円  
 「ナイター券」——3,200円→2,500円

EVENT

DAISEN  
 リフト券(一部除く)を買って応募するとビッグチャンス!  
海外旅行やオリジナルグッズなどのプレゼントが当たります!

利用しやすくなりました。

# あなたの声を町政に

一般質問は、10人の議員が1時間の持ち時間を活用し、23件にわたる諸問題をただしました。



沢田正己議員

## 巡回バスを中山、大山にも

### 経路、需要など調べる

**問** 円満な町運営を図るには旧3町のバランスを保つことが必要である。

名和地区では巡回バスを運行している。大変好評であるが、中山、大山地区の対応をどう考えているか。

**答** (山口町長)

バス施策は生活環境づくりの観点から大切である。中山地区については経路、需要の把握をするため試行運転を検討中。大山地区はバス路線、本数とも多く充実している。

しかしバス利用者も伸びず集落の中まで路線変更

更ができないかバス会社と検討中である。

名和地区では利用者の少ない時間帯の運行をどうするか。経路や経費の見直しが必要である。

### 9号線からフォーラム間の道路は

### 山陰道と関連を生かしたい

**問** なかやま温泉館・生活想像館・フォーラム中山・四季彩園が指定管理業務に計画されている。

昨年12月定例会で質問した道路改良の取り組みはどうか。国土交通省やJRとの調整見解は。

**答** (山口町長)

この道路については総合計画でも主要事業にしている。山陰道の未事業化区間であった名和インターチェンジから下市までの間が事業化され現在測量設計を行い地元説明に入っている。

この際中山地区にもインターチェンジの設置を働きかけている。しかし結論が出ていない。この結論には入念な調査が必要である。単町での事業は困難でありこの機会を生かしたい。

## ナスパルタウンに公民館を

### まず自治会の結成

保されている。

まず自治会の結成を促したい。その中で集会所の必要性を議論してもらい、町が支援して建設という進め方をしてもらいたい。

**問** ナスパルタウンも分譲が進み、半分以上建築された。区長もなく公民館もない。建築が急がれる。

**答** (山口町長)

旧中山町時代に用地確保



集会所の用地は確保済み



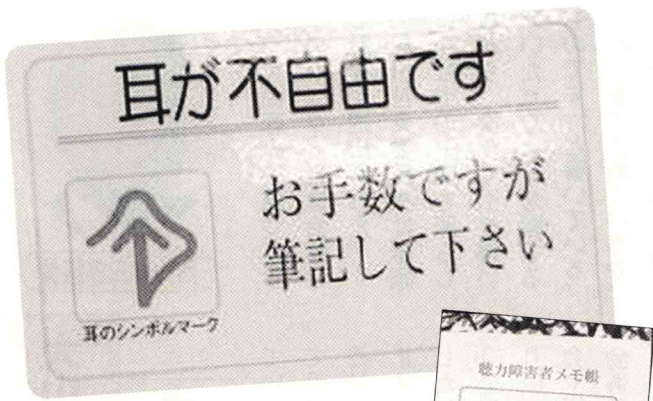


西尾寿博議員

### 障害者自立支援法の対応

#### 町独自の支援は困難

**問** 障害者自立支援法は、ノーマライゼーションの理念に基づき、障害のある方の完全社会参加と平等の実現を目指している。一向になくならない虐待、暴力、イジメ差別、そして就労問題、この全ての問題にかかり、弱い立場にいるのが障害者である。



耳マークは、  
住みよい社会への  
協力を求めるもの

(1) 身体・知的・精神の3障害の福祉サービスを1つにしたことにより、市町村で障害認定区分の導入をした。その結果は、  
(2) 自立に向けた就労支援は、考えているか。  
(3) コミュニケーション支援事業の実態と、合わせて、防災面等の取り組みは。

#### 答 (山口町長)

(1) 「身体障害者だけへのヘルパー」「知的障害者だけへのデイサービス」等の概念がなくなり、サービスの事業所は3障害のいずれにも対応することになった。  
(2) 作業所等3カ所へ運営費の補助により、就労へのきつかけ作りを行っている。  
(3) 西部9市町村共同で、手話通訳者諸団体へ委託を行った。  
防災面では、聴覚障害者情報受信装置等が、重度障害者日常生活用具として給付対象となり、希望者宅へ設置している。

(4) 障害者の負担が増えたが、町独自の負担軽減は考えているか。  
(5) ケーブルテレビが整備された時、障害者に役立つ事は。

(4) 町独自の補助策は、困難だが、必要に応じて県制度としての「付加給付」「負担減免」の実施に向けて働きかける。  
(5) 今は無線なので、耳で聞かわけだが、今後は画面で判断できる。  
将来的には光ケーブル通信により、在宅の障害者、高齢者など、カメラの設置などで、双方向の画面で通信が可能となる。

### 指定管理者制度導入の メリットは 職員定数の削減につながる

**問** 「指定管理者制度」の導入目的とは、住民サービスの向上を図るとともに、自治体の管理経費

の節減等を図ることを目的とする。  
9月1日、中山・大山の福祉施設に導入、そして、臨時議会において、条例を改正し、22カ所の施設を対象に、1月17日の期限で募集をしている。  
(1) メリットは何か。また、経費削減はどれ位か。  
(2) 施設の財産的評価はいくらか。現在償還中の事業もあるが、その内訳は。  
(3) 公共性の高い施設がほとんどである。  
住民サービスなどの確保が問われてくるが、業者の指導は。また、町に毎年1度、事業報告書の提出とある。安心できるか。

#### 答 (山口町長)

(1) 職員定数の削減につながる。  
指定管理料については、明示してないので、今、金額は出せないが、町管理料の同等以下と

定めている。  
(2) 売却しないので、調査を行っていない。  
名和地域休養施設が平成21年までで約1650万円、温泉館・生活想像館が平成22年までで約3億8千万円引き続き町が償還する。  
(3) 事業報告書は年度終了後1回だが、必要に応じて報告を求め、指導をする。当然住民の方、議会にも報告する。



120席のホールを持つ生活想像館 (フォーラムなかやま)